

平成 29 年 6 月 21 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：地域連携課 山本・河部
電話：0855-24-2396

平成 29 年度「地域課題総合理解」の開講について

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」において、平成 28 年度より、「地域課題総合理解」（集中講義形式 全 8 コマ）を開講しております。

この科目は「しまね地域マイスター」認定制度における基礎科目（必修）の位置づけとなっており、浜田キャンパス・出雲キャンパス合同で開講されるものです。

記

1 講義概要

島根県が抱える課題について、総合政策学部総合政策学科と看護学部看護学科の学生が一堂に会し演習方式で議論し、報告することを通じ、ひとつの地域課題に対して学際的に考えることの必要性を理解するとともに、その考え方を学習する。

2 講義日程・会場

日程：6 月 24 日(土) 9:50 ～ 6 月 25 日(日) 16:30

会場：島根県立大学出雲キャンパス
(島根県出雲市西林木町 151)

<講義内容>

◆1 コマ目・・・事前学習成果の共有

事前に提出したパワーポイント原稿を用いて、事前学習の成果を発表し、共有する。

◆2 コマ目～6 コマ目・・・グループワーク

事前学習の成果をもとに、学際的に異なる専門分野から物事をとらえてディスカッションを行い、報告会に向けて、グループとしての報告資料（パワーポイント）を作成する。
また、中間報告の時間も設ける。

◆7 コマ目～8 コマ目

各グループで作成したパワーポイントを用いて報告し、共有する。

※当日のタイムスケジュールについては、別紙をご覧ください。

※講義のうち、2 日目 [6 月 25 日(日)] を取材可能とします。

取材を希望される報道機関は、当日出雲キャンパス 1 号館 1 階の事務室にて手続きの上、入館をお願いします。

(対応の都合上、報道取材の際は事前に担当者までご連絡いただけますと幸いです)

3 受講予定学生

浜田キャンパス 2 年生 12 名、出雲キャンパス 2 年生 18 名

《H29 年度テーマと内容》

【テーマ】

「島根県における防災・減災を目指した課題とその対策」

【内容】

災害が発生すると、けが人だけでなく持病を抱えた人いかに対応するかが問題となります。特に、自然災害では道路の寸断により孤立する人々が発生したり、医療施設にけが人や病人が集中したりすることも予想されます。また、そうした緊急・異常事態が発生した時でも、持病を持つ人の受診機会の確保も問題です。

本講義では、地理的特性や人口減少・少子高齢化・過疎化が進行し、原子力発電所を有し、医療機関の整備が十分とは言い難い島根県において、災害に対していかに備えるか、また、たとえ災害が起こったとしてもいかにその影響を小さくするか、山積している課題とその対策について検討します。

受講生は、講義当日までに指示された課題による事前学習に取り組み、講義当日は事前学習でまとめた内容から、類似するテーマによってグループ分けし、グループとしての考えを発表します。

<課題>

以下の【キーワード】を用いて、講義テーマに即した内容をそれぞれが所属する学部（【看護学部】の学生は、住民の生活や医療の視点、【総合政策学部】の学生は、政策立案の視点）からまとめてください。すべてのキーワードを網羅する必要はありませんが、可能な限り網羅的に構成してください。

健康課題、防災・減災、孤立、広域・医療機関どうしの連携、
限られた資源（人的・物的・財政的）、自助・互助・共助・公助、避難場所、避難ルート

《タイムスケジュール》

日程	内容	備考
1 日目 (6/24)	10:00～12:00 アイスブレイク／グループワーク	—
	(12:00～13:00 昼食)	
	13:00～14:30 グループワーク	
	14:40～15:40 中間報告会	
2 日目 (6/25)	9:30～12:00 グループワーク	演習室 (班ごとに指定)
	(12:00～13:00 昼食)	—
※取材可能日	13:00～16:30 成果発表・意見交換等	3号館 217 講義室